



第 2820 地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

【例 会 場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020
 【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00
 【事 務 所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室
 TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
 Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin
通報 No.37

■会 長 千葉 省 三 ■副 会 長 鈴 木 幸 一
 ■幹 事 池 澤 健 ■会 報 委 員 高 島 章 行

本日の例会：平成 29 年 5 月 9 日（火） 【プログラム】クラブフォーラム / 次年度計画

次回例会：平成 29 年 5 月 16 日（火） 【プログラム】クラブフォーラム / 会長エレクト

例会報告

4 月 25 日（火）12:00 開会

高島委員



会長の時間

千葉省三 会長



会長の時間をいただきます。

次年度の地区研修・協議会が 23 日に開催されました。

鈴木年度の各委員長様、お疲れ様でございました。

残り約 2 か月です。昨年 7 月 5 日に初めて会長の挨拶をさせていただき、「もう一度ロータリーを見直そう会」を翌週より信太パスト会長から始めさせていただきました。来月から再開させていただきます。弓野パスト会長よろしくお願いたします。

先ほど、55 周年の副実行委員長さんが、テントの写真を持ってきてくれました。見たい方はお知らせください。

先週の式典の良かった点、悪かった点を考えました。良かったことは、ご来賓のかたに「悪い」と言われなかったことです。悪かったことは、会場の狭さです。そして、実行委員の立ち上げの遅さです。私の評価点は 49 点です。60 周年に向けて、何か動かななくてはいけないと思います。

以上、会長の時間といたします。ありがとうございます。



幹事報告

池澤幹事



- 来週 5 月 2 日の例会は、休会とさせていただきます。お間違のないようお願いいたします。



委員会報告

鈴木会長エレクト

- 4 月 23 日に、地区研修・協議会が開催されました。木本ガバナー他ご出席いただき、ありがとうございました。よろしくお願いたします。
- 皆さんにテーマバッチをお配りしましたが、まだもらってない方は後ろにありますので、持って行っていただければと思います。

次年度国際奉仕委員会

高島委員

- IFF の日程がある程度固まってきました。飛行機手配等ありますので、後ほど会員の皆様に希望を募りたいと思います。よろしくお願いたします。



出席報告

朝日委員

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
30名	21名	9名	72.41%	10名	100%	7名



ニコニコ BOX

石川委員長

- ◇ 鈴木委員長、卓話よろしくお願ひします。
千葉会長・池澤幹事・星 勝治・高島章行・山本忠安・信太克己・川崎健輔・木本貴一・鹿志村高道・石川國博・朝日正道・千葉隆一・鈴木幸一・荒川浩信・宮本尚彦・弓野博司・赤津幸作・長谷川太一・川村昌弘
- ◇ 本日卓話させていただきます。よろしくお願ひします。
鈴木俊彦
- ◇ 桜散り 若葉萌え出で 夏直近
石川 悟



本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました



本日計 28,000 円	累計額 1,152,300 円
--------------	-----------------



プログラム

卓話

会計

鈴木会員



- 貴重なお時間ありがとうございます。鈴木でございます。
- 今日、会員の皆様は経営者ですので、「外貨建て資産保有の意義」についてお話ししたいと思います。
- 昨年2月に日本で初めてマイナス金利政策を導入しました。国債の利回りが過去最低となりました。MMFなど、販売停止となっております。

- そこで、外貨建ての商品に、興味関心が大きくなっていると思います。
- 資料をご覧ください。二つお話しします。
- 一つ目は、通貨の分散の必要性です。円だけではなく外貨を持つ必要があるのかを、お話ししたいと思います。
- 円の価値は変動し、生活に影響があります。
- 円の実質資産価値が、為替によってどのように影響を受けるかをみたいと思います。
- ガソリンと米ドルを例に見てみます。円高によって、実質資産価値が増加します。円安の場合は、実質資産価値が減少します。円で買えるものの価値が増えたり減ったりします。
- 日本は輸入大国です。円安になった時、実質資産価値の減少というリスクを負います。
- 資産を自国の通貨のみに集中すると、為替の影響を受けやすくなります。
- 円と外貨を両方持っている、資産全体の实質資産価値は維持しやすくなります。
- 二つ目は、外貨建て資産保有のメリットです。
- 外貨は円と比べると相対的な高金利であります。超低金利の円建て資産だけではなく、ある程度金利の高い通貨に分散投資をしておく必要があります。
- 金融機関でよく言われる、72の法則という言葉があります。資産を2倍するのに必要な年数を割り出す式です。
- 例えば3%で運用するとどうなるか見てみます。米ドル3%複利で10年間運用すると、1.34倍になります。ある程度の金利である程度の期間運用できると、効果的に資産を増やすことができます。
- 円建ての利回りは低いので、バランスを取りながら、外貨資産の一部組み入れをしないと、このような運用にはなりません。
- 一番の問題は、為替のリスクです。
- リスクを軽減する方法のひとつとして、高い金利を味方につけて、外貨建て資産自体を増やすことで、円での元本割込みのリスクを軽減できます。
- 分散投資の考え方を整理したいと思います。
- トータルで実質的資産価値を守ることができ、円と外貨の2つの財布を持つことで、その時々の方ができることが、分散投資のメリットです。
- どうもありがとうございました。

会長の点鐘をもって閉会。